

# おうちで博物館めぐりえ かいせつ

## 【001博物館ロゴ】

**解説**：このめぐりえには、魚と船のイラストがはいっています。これらは博物館のロゴマークとして使われていて、船（黒船）は人文部門を、魚（チョウチンアンコウ）は自然部門を、それぞれイメージしています。

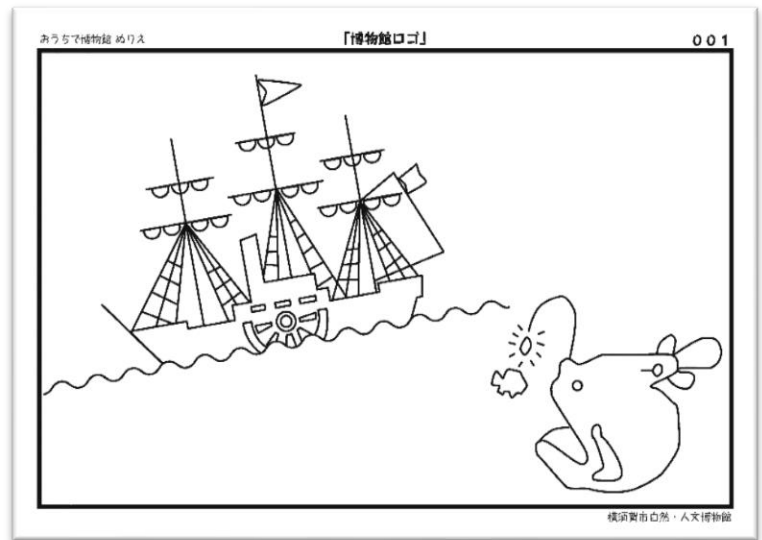
船のロゴマークは、1957年に2冊にわかれて刊行された『博物館研究報告(自然科学)』と『同(人文科学)』にて、それぞれの表紙にはじめて使われました。モデルは、1853年に浦賀沖に来航した4隻のペリー艦隊の「黒船」と思われます。なお、『博物館研究報告(自然科学)』には、いまでも表紙に使われています。

チョウチンアンコウは、1970年の『博物館研究報告(自然科学)』で、船のロゴマークにかわって新しく使われ、いまでも表紙にも使われています。いまの博物館自然館の建物は1970年に完成しました。この展示の特徴のひとつは、世界でもめずらしい発光生物の展示コーナーがあることです。発光器を光らせてエサをおびきよせるチョウチンアンコウが自然部門のロゴマークにえらばれたのも、そうした理由があったのかもしれない。

**展示**：チョウチンアンコウは、自然館1階「深海の生物」や「発光生物」のコーナーで見られます。ペリー艦隊の「黒船」は博物館には展示されていません。

**対象**：未就学児～小学校低学年（1～3年生）向け。

**コツ**：船のロゴマークには、ペリー来航した時代の最新技術である蒸気船の特徴がえがかれています。それが、船の中央あたりにある煙突と外輪（蒸気機関で水車のようにまわって水をかき、船を前後にうごかすもの）です。



めぐりえ図案「博物館ロゴ」（実際はA4判）



ペリー艦隊のひとつ、ミシシッピー号



チョウチンアンコウとタカアシガニ  
（自然館1階「深海の生物」）